

令和7年3月4日

令和6年度 とうきょうすくわくプログラム推進事業活動報告書

園名	千代田区立ふじみこども園
所在地	千代田区富士見1-10-3

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭の生き物

<テーマの設定理由>

土の専用園庭があり、近隣に皇居や北の丸公園の自然豊かな場もあることから、虫等の生き物が生息可能である。子供たちの多くが生き物への関心が高く、さらに呼び込む環境・繁殖するための環境等を講師から学んだり、実際に育てながら感じ取ったりすることで、子供の知的好奇心を育むことが期待できるため。
※令和4年度から「わくわく園庭作りプロジェクト」として、園庭を子供の主体的な遊びの場として5歳児のアイデアを聞き取りながら保育者が見直し・整備を行っている。昨年度推進委員会の設置、今年度全保育者が関わって推進するとして重点課題として取り組んでいる。

2. 活動スケジュール

【講師を招聘しての活動】

第1回：令和6年10月7日
第2回：令和6年10月28日
第3回：令和7年2月17日

【幼児の活動】

・日々継続的に
・幼児用カメラの導入 令和7年1月～

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・講師との観察会で、捕まえた虫を入れて観察するための虫かご
- ・全園児が観察しやすい場所に、捕まえた虫を入れた虫かごを設置して飼育
- ・虫を呼びこむ環境作りのためのプランターと植物の種・苗
- ・プランターに植えた植物の表示
- ・園庭で見つけた虫や生き物を共有するための幼児用カメラとその場ですぐ印刷できるプリンター
- ・撮った写真を共有するためのホワイトボードの設置

4. 探究活動の実績

<活動の内容>

【講師を招聘しての活動】 講師…株式会社プラネット・コンサルティングネットワーク

第1回：外濠公園での観察会

年長児が講師と一緒に近隣の公園である外濠公園で観察会を実施した。講師の話聞いて、バッタやイナゴなどの虫探しをグループで楽しみ、捕まえた虫は園に持ち帰って観察できるようにした。

第2回：園内観察会

講師の話聞いて、年長児が自分たちの住む千代田区の公園の環境や、虫が住みやすい環境について知り、園に虫を呼び込むための環境について考えた。

第3回：植物を植える活動

来年度に向けて、年中児が虫を呼び込むために効果的な植物を植える活動を行った。

【幼児の活動】

園の重点課題として進めている「わくわく園庭作りプロジェクト」と連動し、幼児は園庭での虫探しを楽しんだり、職員が捕まえてきたバッタと一緒に放虫したりした。1月に、年長児に幼児用カメラを導入すると、より園庭での虫探しが友達と一緒に夢中になり、撮った写真をすぐに印刷して掲示板に貼ったり、クラスの中で発表したり、共有することを喜ぶようになった。

＜活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり＞

- ・虫を探す際に、「ここにいるかな？」「こっちじゃない？」と虫がいそうな場所を予想しながら探す姿
- ・自分が見付けた生き物について、講師の先生に聞いたり、今までの経験を生かして予想したりする姿
- ・講師の話を聞いて、「タンポポをいっぱいにしたら虫がくるかな？」など自分の考えを発表したり、友達の発表を聞いたりする姿。
- ・前日の活動を受けて、「バッタまだいるか探してくる！」「ヨモギハムシ来てたよー！」と次の日も引き続き関心をもって環境に関わる姿
- ・虫を見付けた場所や見付けた時の虫の様子をクラスの中で伝える姿がある。
- ・保育者も一緒に幼児と同じ目線で活動を楽しんだり、幼児の発見を認めたりして、幼児が探究を楽しむ姿を引き出す。

＜活動の様子＞



5. 振り返り

（振り返りによって得た保育者の気づき）

- ・観察会や植物を植える活動を実施することで、それを基にして考えたり、予想したりする探究の姿や、幼児の意欲をより引き出すことにつながっている。
- ・必要な道具をそろえたり、幼児が活動に関心をもちやすい環境を設定したりすることで、幼児が自分から環境に関わり、楽しむ姿を引き出すことができる。
- ・専門的な知識をもつ講師の存在は、幼児が新しいことを知ることを楽しみ、知的好奇心を育む上で、有効である。

以上